

# 岡山芸術交流 2016 オルタナティブマップ Ⅲ

詳しくは [www.oasamap.jp](http://www.oasamap.jp)



オルタナティブマップ I 眼 (美術館エリア)

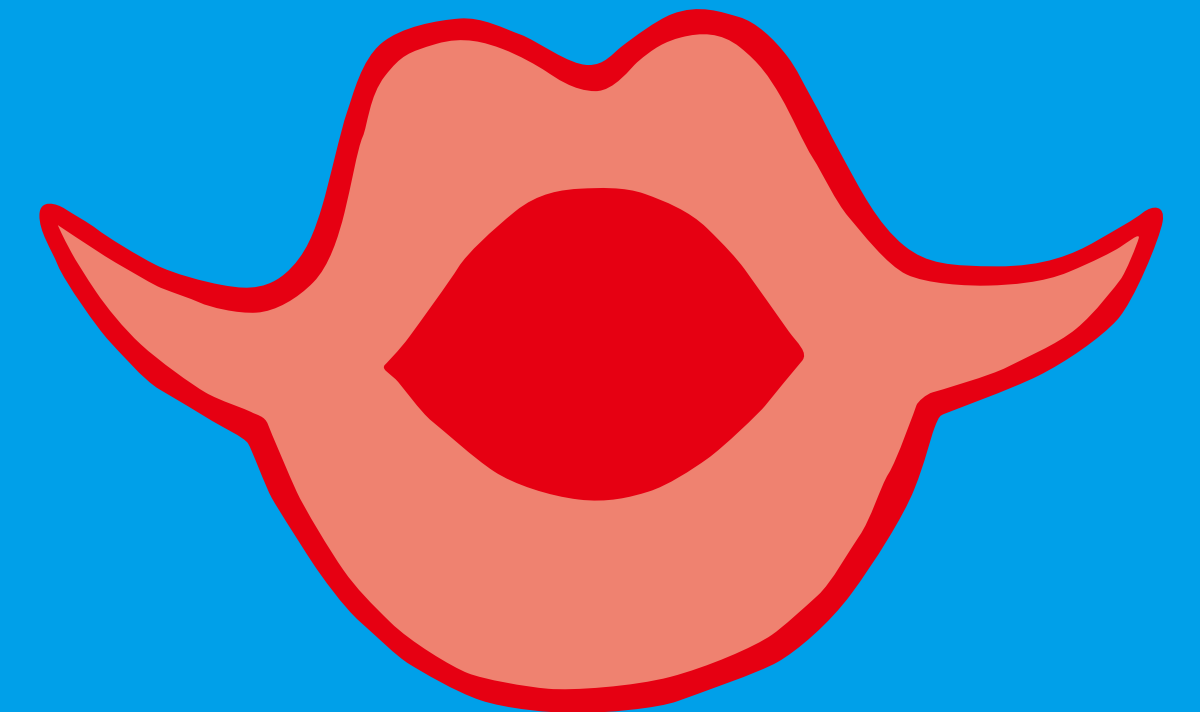


オルタナティブマップ II 鼻 (西川エリア)

## Art spots:

Sign of Ikeda Zoo  
Boxes at Sugiyama Hardware Store  
East-west underpass of Okayama Station  
Display Table of Nogami Shouten  
Wooden Locker of Tsuruyu  
Notre Dame Seishin University  
Otake Manju  
Turtle of Sugiyama Seedling Shop  
Okayama Baseball Stadium  
Package of Kinpuku Kashiho  
Mural of Seishin Onsen  
☆Signal  
Sign of San Jose  
Dinosaur in Taiyo-no-Oka  
Carved Sign of Gallery Cafe Kurumi  
Captain Hats at Ishii Hat  
Masks of Gorilla at Hirao  
Shop Curtain of Ansei  
East Gate of Ishii Elementary School  
Staircase Posts of Ground Club  
Nawate  
Sign of Asazuki  
Labels of Cotan  
Daitou Fruits Shop  
Street Lamp in Nishi-houkan-cho Shopping St.  
Adventure of Cinema  
Decorating in Onsaya  
Radio Tower at Kami-ifuku-nishi Park  
Curved Tiles of Watanabe Shoes Shop  
Magic Square of Pepper Land

岡山芸術交流 | Public Program 2016  
[www.facebook.com/oas.publicprogram](http://www.facebook.com/oas.publicprogram)



# 伝播 Propagatio | Map

岡山芸術交流 | Public Program 2016  
10.9.2016 - ?  
[www.oasamap.jp](http://www.oasamap.jp)

## 岡山芸術交流 Art spots

### オルタナティブマップとは

「岡山芸術交流 Okayama Art Summit 2016」は、芸術を通して国境や文化、世代を超えた様々な交流が生まれることをめざして開催される大型国際展覧会です。

関連事業であるパブリックプログラムでは、「岡山芸術交流」が地域に開かれ、根ざし、持続・発展していくための“人や場所の発掘と関係性の構築”と“文化資産の活用と発信”を目的に、トークイベントの開催や各種企画を行っています。

この「岡山芸術交流オルタナティブマップ」は、市内を回遊しながら岡山の魅力を“発見・探求・伝播”していただくために、街に点在する多種多様な見どころを独自の視点で編集しています。

展覧会で美術作品を鑑賞するように町並みを捉え直して歩いてみれば、何気ない日常の風景や事物が、人々の営みや創意工夫の込められた“逸品”として、あるいはコンセプトualアートに連する間いかけのようにも感じられるのではないでしょうか。

また、見どころの紹介とともに、岡山のカルチャーシーンを牽引するスペースなども地図上に記していますので、ぜひ、実際に訪れてみてください。

本マップは3部作  
**眼**（美術館エリア）／**鼻**（西川エリア）／**口**（奉還町エリア）で構成し、特設ウェブサイトにも運動しています。  
**第1弾＝眼**で「発見 Discovery」して、  
**第2弾＝鼻**を利かせてさらに「探求 Quest」し、  
**第3弾＝口**（口々に）「伝播 Propagatio」していただければ幸いです。

企画監修  
**木ノ下智恵子**  
岡山芸術交流2016パブリックプログラム ディレクター

編集・デザイン  
**森田奈美枝** Satellite 代表　ギャラリスト  
**軸原ヨウスケ** COCHAE デザイナー  
**内海慶一** 著作家　コピーライター  
**脇英巳** webデザイナー

岡山芸術交流の開催期間が終了した後も、ぜひこのマップをご活用ください。

〈オルタナティブマップⅢ 範囲〉  
**岡山市街 奉還町エリア**

**岡山芸術交流2016**  
**開発／Development**  
**2016年10月9日（日）～11月27日（日）**

**9:00～17:00**（入館は16:30まで）  
休館日：月曜日（10月10日を除く）

＜会場＞ 旧後楽館天神校舎跡地/岡山県天神山文化プラザ/岡山市立オリエント美術館/旧福岡醤油建物/シネマ・クレール 丸の内/林原美術館/岡山城/岡山県庁前広場/岡山市内各所

**www.okayamaartsummit.jp/**

執筆／推薦者  
**K＝森田奈美枝**  
**J＝軸原ヨウスケ**  
**U＝内海慶一**

デザイン  
**軸原ヨウスケ（COCHAE）**  
※デザインフォーマットは岡山芸術交流ライターへのオマージュです。

WEB&MAPデザイン  
**脇英巳**

### Sign of Ikeda Zoo

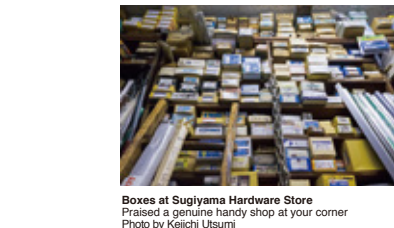


Sign of Ikeda Zoo  
untitled (long standing)  
Photo: Keiichi Utsumi

昭和28年に前身の池田産業動物園が開園。岡山で最初の動物園であり、現在も県下最大規模を誇る。昭和63年に開催した「中国三大珍獣展」ではジャイアントパンダたちがやってきて大勢のファンで賑わった。絵本の中の動物園のような、どこかノスタルジックな佇まいが同園の魅力。それがこの看板に凝縮されている。(J)

間いかけのようにも感じられるのではないでしょうか。

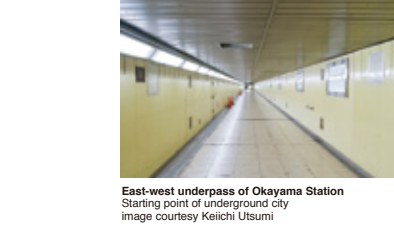
### Boxes at Sugiyama Hardware Store



Boxes at Sugiyama Hardware Store  
Praised a genuine handy shop at your corner  
Photo by Keiichi Utsumi

床から天井まで積まれた箱、箱、箱。その一つ一つに多種多様なクギ、ビス、ボルト、ナットなどが収められている。その数、数千品目。ホームセンターには売っていない金物も、ここに来ればたいてい見つかる。工務店などのプロ御用達の店だが、一般客もネジ1本からバラで買えるのがうれしい。昭和21年創業。(U)

### East-west underpass of Okayama Station

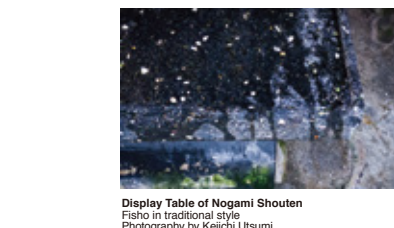


East-west underpass of Okayama Station  
Starting point of underground city  
Image courtesy Keiichi Utsumi

アトラクション感のあるこの地下道、元は手荷物専用通路だった。終戦後、岡山駅は東西で分断され、行き来するには入場券を買わなければならなかった。そこで改修策としてこの手荷物専用地下道を利用することにより、それを機に中筋入口まで延長し、地下商店街を建設。昭和34年、大阪以西では初の地下街が誕生した。(K)

9:00～17:00（入館は16:30まで）  
休館日：月曜日（10月10日を除く）

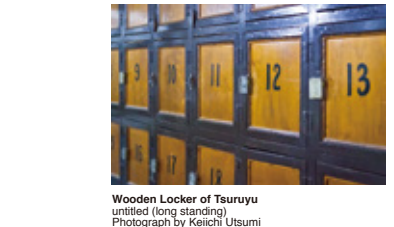
### Display Table of Nogami Shouten



Display Table of Nogami Shouten  
Folio in traditional style  
Photography by Keiichi Utsumi

戦前から鮮魚店を営んでいた野上商店は、昭和35年頃に現在の場所へ移転。当時建てた店舗は今もそのままだけに、目を引くのが、商品を並べるための陳列台。黒い人造石で作っており、その中に貝殻の破片が散りばめられているのだ。水に濡れた貝殻が光を受け、半世紀前と変わらない輝きを放っている。(U)

### Wooden Locker of Tsuruyu

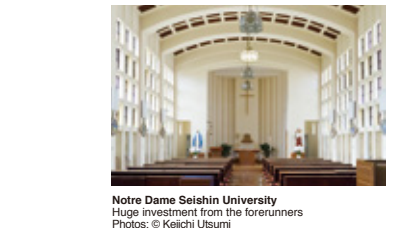


Wooden Locker of Tsuruyu  
untitled (long standing)  
Photograph by Keiichi Utsumi

奉還町4丁目に、名入り看板の出ていない銭湯がある。しかし近隣の住民はそこが「鶴湯」という名前であることを知っている。昭和初期からずっとこの場所で営業を続けている老舗だからだ。脱衣所の木製ロッカーも創業時から使われているもの。浴槽は石造りで、岡山産のブランド石「万成石」が使用されている。(U)

間いかけのようにも感じられるのではないでしょうか。

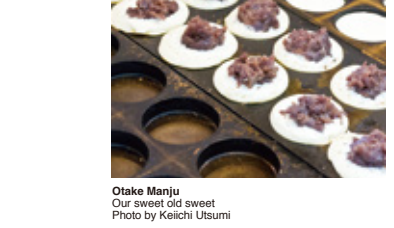
### Notre Dame Seishin University



Notre Dame Seishin University  
Huge investment from the forerunners  
Photos: © Keiichi Utsumi

昭和4年に建てられた本館と東棟は、フランク・ロイド・ライトの助手であり前川國男の師でもある、アントニン・レーモンドによる設計。岡山空襲をまぬがれ、ほぼ当時のままの姿を残している。ステンドグラスや照明器具、窓や天井のカーブなど、どこを切り取っても美しい。受付で申し込めば校内の見学が可能。(K)

### Otake Manju



Otake Manju  
Our sweet old sweet  
Photo by Keiichi Utsumi

終戦の翌年、大供に出店。屋号の由来は、店舗が竹を組んだバラックだったことから。奉還町は2号店。2代目が病に倒れ、平成11年に2店とも閉店したが、平成26年に3代目が奉還町店を再開。半世紀余り愛された岡山の味が15年を経て復活した。真鍮製の大利焼き機も、懐かしい味と共に先代から引き継がれている。(K)

9:00～17:00（入館は16:30まで）  
休館日：月曜日（10月10日を除く）

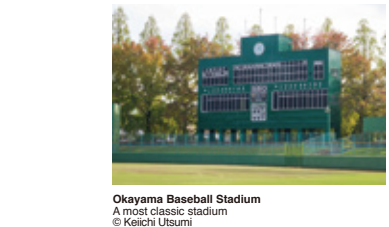
### Turtle of Sugiyama Seedling Shop



Turtle of Sugiyama Seedling Shop  
The hill can change your life  
Photograph: Keiichi Utsumi

江戸から明治へ時代が変わり、職を失った武士が「奉還金」を元手に商売を始めたのが奉還町商店街の起源。現存する店の中で最も古いのが杉山種苗だ。表に掲げられた亀のマークは先々代がつくったもの。長寿の象徴である亀が、時代と共に移り変わる商店街の姿を、そして変わらなく続く人々の暮らしを見つめている。(U)

### Okayama Baseball Stadium



Okayama Baseball Stadium  
A most classic sister city  
© Keiichi Utsumi

昭和26年完成。こけら落しとしては日米親善野球大会が行われ、日本のプロ野球チームがアメリカのプロ野球チームに初勝利をあげた場所となった。球場のスコアボードは手書きのはめ込み式。しかもスコア表示はSBOで縦並びという、今となってはレアな形式だ。65年以上の時間と記憶が刻まれた、レガシー球場。(K)

間いかけのようにも感じられるのではないでしょうか。

### Package of Kinpuku Kashiho



Package of Kinpuku Kashiho  
Harmonization of East and West  
Photograph: Keiichi Utsumi

明治40年創業。内田百閒も愛した「三門だんご」や創業から続く「レンガカステラ」が有名だが、2代目が昭和40年頃に考案した「ピンチョモなか」はあんこチョコという和洋折衷の定番菓子。愛らしいパッケージデザインも2代目が自ら手掛けた。秋以降、気温が20度以下になったら店頭に並ぶ季節商品だ。(J)

### Mural of Seishin Onsen



Mural of Seishin Onsen  
Heritage of popular culture  
Photos: © Keiichi Utsumi

昭和24年創業。平成21年に廃業したが、平成24年より再開し、現在は不定期営業中。建物はほぼ当時のままで、どこを切り取っても味わい深い。タイルも鏡もすべてが作品だ。70年近く経った今でもこれだけのコンディションを保っていられるのは、街を愛し、街に愛されている特別な場所だからだろう。(J)

9:00～17:00（入館は16:30まで）  
休館日：月曜日（10月10日を除く）

### Signal



Signal  
Influenced by the National Athletic Meet  
Photograph by Keiichi Utsumi

岡山独自の道路標示で、平成17年より交通事故の多い交差点などを中心に導入された。同年秋に開催された岡山国体に合わせて、交通マナー向上を図ったとのこと。ちなみにこの道は国体跡と呼ばれ、すぐそこは国体町。☆は国体のスローガンだった「あなたがキラリ☆」から。緑色は岡山土産のマスカットにちなんで。(U)

### Sign of San Jose



Sign of San Jose  
Find your own sister city  
Image courtesy Keiichi Utsumi

昭和44年創業のサンホセ。陶磁器や織物も様々な作品を展示しており、かつてはラテン音楽喫茶も當んだった。また、昭和61年からは路上観覧写真展も定期的に開催している。コスタリカの首都サンホセは岡山の姉妹都市。この看板は店主がサンホセを訪れた際に見た看板をヒントにして、自らデザインしたものだ。(U)

間いかけのようにも感じられるのではないでしょうか。

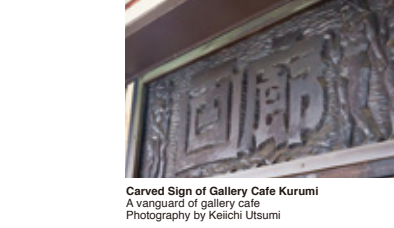
### Dinosaur in Taiyo-no-Oka



Dinosaur in Taiyo-no-Oka  
Oldest slides and park  
Photos: © Keiichi Utsumi

「太陽の丘公園」のシンボルとも言える恐竜の滑り台は昭和43年に設置。当時は賑が光り、スモークを吐いていたそう。半世紀近く過ぎてもその存在感は褪せない。隣にある「人と科学の未来館サイビア」には科学が体験できるワークショップや最新のプラネタリウムがあり、世代を超えて楽しめる施設となっている。(K)

### Carved Sign of Gallery Cafe Kurumi



Carved Sign of Gallery Cafe Kurumi  
Guarder here day after day  
Photography by Keiichi Utsumi

岡山におけるカフェギャラリーの先駆者的存在（昭和39年創業）。店内に大小様々な絵画が並ぶ同店は、かつては文化人の集うサロンのような場所だったという。店名の由来は店に「来る」、絵を「見る」、そして人生が「来る」ようにということである。入口の木製看板など、店内のいたるところに見事な手仕事が残る。(J)

9:00～17:00（入館は16:30まで）  
休館日：月曜日（10月10日を除く）

### Captain Hats at Ishii Hat



Captain Hats at Ishii Hat  
Filling the series at your life  
Photo by Keiichi Utsumi

終戦直後、昭和20年に創業した帽子専門店。ここでか買えない種類・サイズが多くあり、県外から来店する人もいる。特にマリンキャップの品揃えが豊富で、その中でも最も目立っているのが白いキャプテン帽だ。これは船舶の船長がかかる本物。一連に展示されている船も、実際に船で使われていた本物だ。(U)

### Masks of Gorilla at Hirao



Masks of Gorilla at Hirao  
Cheering to you  
© Keiichi Utsumi

戦後すぐに雑貨店を始め、その後、学生服専門店に移行したヒラオ。昭和時代、閉店する玩具店からももらった「猿の惑星」のマスクを店頭のマネキンに被せたところ評判になり、それ以来、奉還町の番人のように商店街の入り口を見つめ続けている。ハチマキは道行く受験生へのエールとして付けるようになった。(J)

間いかけのようにも感じられるのではないでしょうか。

### Shop Curtain of Ansei



Shop Curtain of Ansei  
Oldest encounters of the town  
Photograph: Keiichi Utsumi

壁はうどんの「高松屋」、夜は中華の「安生（あんせい）」と、同じ店舗で2種類の店を経営していたが、20年ほど前にうどんの安生に統一した。昭和43年の創業時から学生客が多く、「デカ盛り」も大きな特徴。人の出入りで磨り減った暖簾は創業時にまとも買い入れたもので、現在使用しているのもで3つ目のこと。(J)

### East Gate of Ishii Elementary School

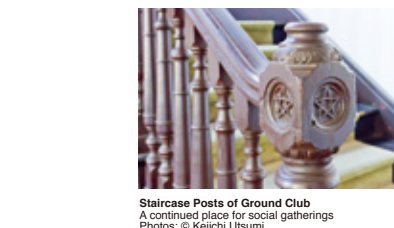


East Gate of Ishii Elementary School  
Guarder here day after day  
Photo: Keiichi Utsumi

明治28年に岡山県御野郡石井尋常小学校として創立され、児童作家・坪田譲治の母校としても知られている。昭和47年に木造校舎が全焼するも、外堀などは昔のままの姿を残している。衰愁漂うどこか懐かしい東門の扉は、長年、大勢の子どもたちを見つめてきた。門のマークは「石」と、それを囲む「井」からできている。(J)

9:00～17:00（入館は16:30まで）  
休館日：月曜日（10月10日を除く）

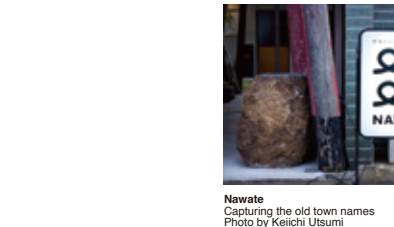
### Staircase Posts of Ground Club



Staircase Posts of Ground Club  
A continued place for social gatherings  
Photos: © Keiichi Utsumi

明治43年に旧陸軍将校の集会所（偕行社）として建てられた洋風建築。戦後に労働基準局の庁舎として使われ、閉鎖。平成2年に「岡山県総合グラウンドクラブ」として復活した。写真は階段の親柱にある旧陸軍マーク。一階にはキュートティヴィ倶楽部というカフェもあり、当時の社交場の空気を感じることができる。(J)

### Nawate

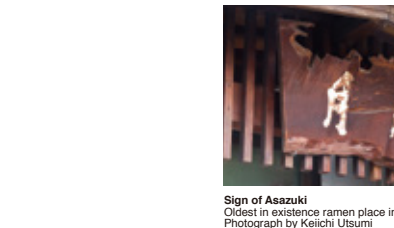


Nawate  
Capturing the old town names  
Photo by Keiichi Utsumi

NAWATEはゲストハウスと店舗が入居する複合施設で、平成25年にオープンした。現在の住所では奉還町4丁目だが、かつてここは暖元町（なわてもとまち）だった。つまり昔の町名を施設名にしているのだ。失われた旧町名は、よく見ると街のあちこちに残っている。それらを探しながら散策するのも一興だ。(U)

間いかけのようにも感じられるのではないでしょうか。

### Sign of Asazuki



Sign of Asazuki  
Oldest encounters of the town  
Photograph by Keiichi Utsumi

昭和23年創業。現存する岡山最古のラーメン店である。あっさりしたラーメンが主流だった時代に、濁った醤油とんこつスープを開発。いわゆる「岡山ラーメン」のルーツ的存在だ。また「カツラーメン」の元祖でもある。店名は創業者の名、浅五郎から。自然木の形を活かした風格ある看板も創業時から掲げられている。(J)

### Labels of Cotan

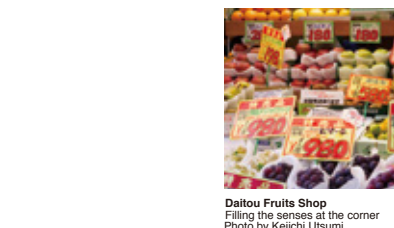


Labels of Cotan  
Chicest foods with no name  
© Keiichi Utsumi

自然食を中心に厳選された商品を届けられる「コタン」は平成17年創業。ワカファームなどで作られた無農薬野菜を始め、生産者のこだわりの詰まった商品が店頭に並ぶ。各商品に添えられたポップからも想いが溢れている。向かいの「マーケット」ではコタンの自然食品を使った天然酵母のパンや食事も楽しめる。(K)

9:00～17:00（入館は16:30まで）  
休館日：月曜日（10月10日を除く）

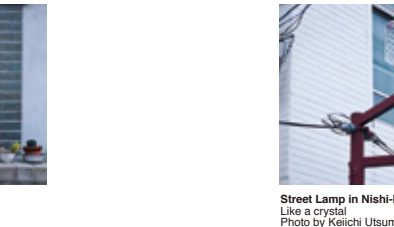
### Daitou Fruits Shop



Daitou Fruits Shop  
Filling the series at the corner  
Photo by Keiichi Utsumi

商店街を歩くとき目に飛び込んでくる、色とりどりの果物。大東果物店（昭和23年創業）では地元岡山の産品も多く取り扱い、夏は白桃やマスカットなどフルーツ王国にふさわしいラインアップが揃う。春から秋にかけて販売される旬の果物を使ったフレッシュジュースも大好評。季節の移り変わりを五感で楽しめる場所だ。(K)

### Street Lamp in Nishi-houkan-cho Shopping St.



Street Lamp in Nishi-houkan-cho Shopping St.  
Like a crystal  
Photo by Keiichi Utsumi

奉還町商店街を西へ進む、三丁目に差し掛かると、そこから先は「西奉還町商店街」だ。この通りに設置された街灯が美しい。顕微鏡の中の結晶のような、静謐な造形美。西奉還町商店街では年に一度「武士マルシェ」というイベントが開催される。失職した武士が商売を始めたという、商店街の歴史にちなんだものだ。(U)

間いかけのようにも感じられるのではないでしょうか。

### Adventure of Cinema



Adventure of Cinema  
Close encounters of the cinemas  
Photo by Keiichi Utsumi

岡山の映画文化を支え続ける、映画好きのための店（平成8年創業）。店内には所沢しとパンフレット、書籍、ポスター、フィギュア、レコードが並ぶ。映画関係者も多く来店する同店は、隔年で開催されている岡山映画祭の事務局にもなっている。店名はかつて店主が関わっていた岡山自主上映の会「映画の冒険」から。(J)

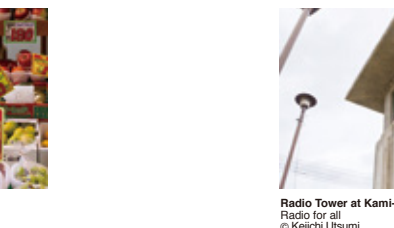
### Decorating in Onsaya



Decorating in Onsaya  
Relaxed mid-century  
Photo by Keiichi Utsumi

昭和30年代半ばから営業していた生地販売店を改装し、平成20年にオープンしたカフェ。自家焙煎のコーヒーとゆったりした時間が楽しめる。懐かしくてモダンな内装は、前のお店から受け継がれたものだ。商店街には他にノバージョンされたショップが並んでおり、元のお店が何だったのか想像してみるのも面白い。(K)

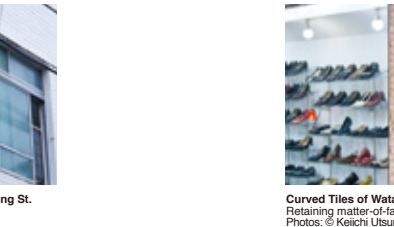
### Radio Tower at Kami-ifuoku-nishi Park



Radio Tower at Kami-ifuoku-nishi Park  
Radio for all  
© Keiichi Utsumi

上伊福西公園にコンクリート製の塔がある。高さ3メートル。これは昭和17年頃にNHKが建てたラジオ塔（公衆用聴取施設）だ。まだラジオが高価で一般家庭に普及していなかった時代、ここにラジオを設置して放送を流していた。当時はこの公園に多くの住民が集まり、ラジオの声に耳を傾けていたのだろう。(U)

### Curved Tiles of Watanabe Shoes Shop

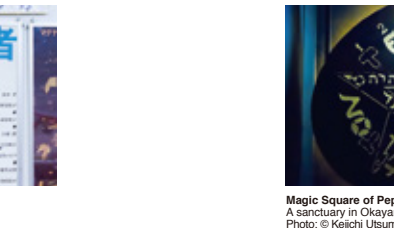


Curved Tiles of Watanabe Shoes Shop  
Retaining matter-of-factly  
Photos: © Keiichi Utsumi

昭和22年創業の渡辺製靴店。その入口に、最近ではなかなか見られないタイル貼りの柱がある。しかも半円筒型。そのため、曲面に沿って連続するタイルが独特の表情をつくっている。同店には長年のファンが多くおり、隣県から靴の修理を頼みに来る人もいろいろ。昔ながらの「靴職人が當面靴屋さん」だ。(U)

間いかけのようにも感じられるのではないでしょうか。

### Magic Square of Pepper Land



Magic Square of Pepper Land  
A sanctuary in Okayama  
Photo: © Keiichi Utsumi

日本のライブハウスの先駆け、ペパーランド（1974年開業）。あらゆる表現が行き交う場を標榜し、音楽演奏のみならず映画上映やクラブイベントなど幅広い活動を行う岡山の文化的聖地。トイレに飾られているのは鉄で作られたレヴィの魔法陣。これは「店内を聖域にする」という考えから、旧店舗の表入口に掲げられていた。(J)

### Cover Art



Cover Art  
Relaxed mid-century  
Photo by Keiichi Utsumi

昭和30年代半ばから営業していた生地販売店を改装し、平成20年にオープンしたカフェ。自家焙煎のコーヒーとゆったりした時間が楽しめる。懐かしくてモダンな内装は、前のお店から受け継がれたものだ。商店街には他にノバージョンされたショップが並んでおり、元のお店が何だったのか想像してみるのも面白い。(K)

### Radio Tower at Kami-ifuoku-nishi Park



Radio Tower at Kami-ifuoku-nishi Park  
Radio for all  
© Keiichi Utsumi

上伊福西公園にコンクリート製の塔がある。高さ3メートル。これは昭和17年頃にNHKが建てたラジオ塔（公衆用聴取施設）だ。まだラジオが高価で一般家庭に普及していなかった時代、ここにラジオを設置して放送を流していた。当時はこの公園に多くの住民が集まり、ラジオの声に耳を傾けていたのだろう。(U)

あなたの好きな場所がわたしの好きな場所になる。

わたしの好きな場所がだれかの好きな場所になる。